

令和6年度 学力向上プラン

長崎市立戸石小学校

- 市・県・全国学力調査における各問題の市平均点を上回ることを目指す。特に平均を下回っている領域等があるので、まずはその課題改善に取り組む。そのために、重点指導事項を意識した授業作りや、基礎的な学習内容の反復学習を行う。
- 家庭学習の手引きによる家庭との連携を図りながら、宿題提出率100%をめざす。特に、市・県・全国学力調査において漢字の書き取りが課題の一つなので、家庭学習と学校の取組を連動させて漢字の習得率を向上させていく。

学習基盤の整備	基礎学力の定着	授業力の向上	GIGAスクール構想
1 学習時間の確保 ○朝の時間活用（週3日） ・読書タイム ・学びタイム（漢字習得） ・学級タイム（学級裁量） ○放課後の時間活用（学級） ・個別指導の充実 ○家庭学習の習慣化 ・学級通信による意識啓発 ○長期休業日の活用 ・長期休業明けに漢字100問テストを実施 2 学習規律の定着 3 ユニバーサルデザインの視点を取り入れた学級作りと授業作り	1 重点指導事項の設定 ・学校全体の取組 ・各学年の取組 2 読書活動の充実 ・長文に慣れる（読む） ・感想文、紹介文（書く） 3 学びタイムの活用 ・家庭学習で取り組ませた漢字を小テストにより習得状況の把握 4 学級タイムの活用 ・計算練習や作図、タイピングなどを中心に学習で必要となる基礎的な技能を習得	1 授業改善 ○校内研修の推進 ・研究テーマ『わかる・できる喜びを味わい、主体的・対話的に学ぶ子どもの育成をめざして』 ～ICTの効果的な活用を通して～ 2 現職教育の推進 ○研修会や研究発表会への積極的参加と伝達講習会 3 初任者・経年経過研修における研究授業の活用 4 師範授業の活用	1 タイピングや機器活用方法についての技能の向上 ○タイピング力の向上 ○アプリの使い方の理解 2 情報モラル教育の充実 ○道徳科や学級活動などを通じた情報リテラシーの育成 3 県や市における実践事例の追試と資料蓄積 ○現職教育において共有 4 授業での活用 ○学習ツールとしての効果的・効率的な活用法について、実践を通して整理

教育活動全体

- 学習指導要領を踏まえての指導・・・各教科等の指導内容の再確認
- 言語活動の充実・・・「書くこと」「話すこと」の日常化
- 生徒指導の充実・・・基本的な生活習慣、学習習慣の定着

重点教科における取組

国語科	算数科
課題 ●知識・技能（文章の構成と語句と語句の関係） ●目的をもって書く力の向上 1 日々の授業 ○めあてを明確にした授業 ○音読、群読の時間を確保（読む） ○文章構成における理解力の向上 ○目的や条件に合わせて自分の考えを書く <u>機会の確保</u> ○少人数グループ・ペアでの話し合い ○練り合い・開き合いにおける指導の工夫 ○まとめは、自分の言葉で 2 強化する取組 ○国語辞典の活用（知る・使う） ○反復練習（漢字・慣用語句） 3 全校漢字チャレンジテスト ○小テストの総まとめとして毎学期実施	課題 ●図表を用いて考え、解決・説明する力の向上 1 日々の授業 ○問題を自分のこととしてとらえる導入 ○数学的活動を通じた授業 ○ <u>系統的な図表の指導と解決力の向上</u> ○自力解決場面での手立て ・自分の考えの文章化 ・ヒントカードの活用 ○少人数グループ・ペアでの話し合い ○ <u>練り合い・開き合いにおける指導の工夫（ICT活用）</u> ○まとめは、自分の言葉で ○ <u>振り返り学習時間の確保（学習の定着）</u> 2 校内研究 ○ <u>ICTを活用した授業の展開</u> ・効率的な場面での活用